

要望書

1 共通テスト受験料の無償化や困窮家庭向けの受験のための公的支援の充実

困窮子育て家庭では、受験料の負担ができずに、子どもたちは本来目指したい大学を諦めています。お金がないために挑戦もできないという現実は、あまりにも不合理です。共通テストの無償化を求める声も複数ありました。受験サポート奨学金の5万円を受験料に当てることで、受験ができたという家庭も多くあります。せめて、共通テストは無償化する、または、困窮家庭の高校生が利用できる、受験料などに使える公的支援が必要です。

東京都では、中学3年生、高校3年生に塾費用や受験料を無利子で貸付、高校、大学等に入学した場合返済が免除になる受験生チャレンジ支援貸付事業があります。このような制度を日本全国で実施するなど、困窮家庭の子どもでも心配なく受験に挑戦できるようにしてください。

<子どもの声>

- ・ 大学共通テスト2万円は負担があり過ぎます。みんながみんな親が払ってくれるということではありません。子どもが払う場合が少なくありません。私には、高くて大学共通テストを諦めました。どうか、少しでも検定料を考え直してもらえると幸いです。
- ・ 共通テストをコロナで諦めました。そんな生徒がいた事を知ってほしい。
- ・ せめて「共通テスト」は無償にして欲しいです。受験料が払えないと、受験資格すらないのは辛いです。(浪人予定)
- ・ 受験する費用を安くして欲しいです。と同時に、模試代を安くしてもらえるとありがたいです。ひとり親家庭なので、なるべく母には心配と苦勞をかけたたくありません。(浪人予定)

参考：東京都 受験生チャレンジ支援貸付事業

https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/11/12/documents/10_01.pdf

参考：共通テスト受験料

3教科以上を受験する場合は18,000円、2教科以下の場合12,000円。

2. 児童手当の高校生までの延長

児童扶養手当や非課税世帯に限らず、コロナの影響で家計が苦しくなっている子育て家庭はたくさんあります。高校生は、中学生に比べて様々な費用が増えるのに、児童手当が中学卒業時で終わってしまうのはあまりにも不合理です。高校進学率は97%を超えており、ほとんどの子どもは親が扶養をしています。高校時代こそ児童手当が必要です。児童手当の高校卒業時までの延長で、子育て家庭の不安を解

消してください。

3. コロナ氷河期、コロナ引きこもりを出さないために、浪人生への支援を

入試制度が複雑化、多様化する中で、塾や予備校で適切な情報やアドバイスをもらえる子どもと比較し、一人で勉強と情報收拾をしなければならない困窮家庭の子どもは大きな不利があります。情報戦に敗れた子どもたちからも、保護者からも、このまま浪人することへの不安が届いています。塾や予備校に行けない浪人生を孤立させないために、出身高校がフォローをする、NPO 等が支援を行うなど、親子を孤立させない仕組みが必要です。このままでは、受験も就職もできないまま、引きこもってしまうなど、子どもの将来を大きく歪めてしまいます。

<子どもの声>

- ・ 自分を含めて、情報がうまく掴めなかったために悔しい結果になってしまっている人がいることを分かってほしい。作戦を練るには、全くのひとりで戦っていくことには限界があったと今回、痛感した。予備校や塾などのプロのアドバイスや情報が入手できた人しか合格を勝ち取れないようなこの仕組みは、経済力がある人しか大学に進学できないことに繋がっていて、納得できない。

<保護者の声>

- ・ 全部不合格だったため、今後の進路が決まらず毎日喧嘩の日々です。母子家庭でなければ浪人させることも選択肢としてあるのですが、そんな余裕がないため大学は諦めてもらうしかありません。引きこもりになる気がしていて、このまま放置していてよいのかとても悩んでいます。

4. オンライン環境の整備と家庭以外の学習場所の確保を

受験の情報を得るにも、塾や予備校の代わりにオンライン教育サービスを利用するにも、インターネットは必須です。ほとんどの大学がオンライン出願になるなか、インターネットに接続できないことは大きなマイナスです。困窮子育て家庭には、無料や低額でネット接続ができるようにしてください。

また、コロナのために学校にも行けず、図書館も使えずとても困ったという声が多数ありました。家庭で落ち着いて勉強できない子どものために公共施設を無料で開放するなど思う存分に勉強できる環境を整えてください。

<子どもの声>

- ・ 勉強をする環境はとても大事で、家があるだろう、と言われるがすべての人が自分の部屋を持っているわけではないし、静かな環境とも言えない。
- ・ コロナによる影響で図書館や自習室が使えませんでした。
- ・ 狭いアパートでは、なかなか勉強する気にならなくて、ショッピングセンターのフードコートでやっていました

以上